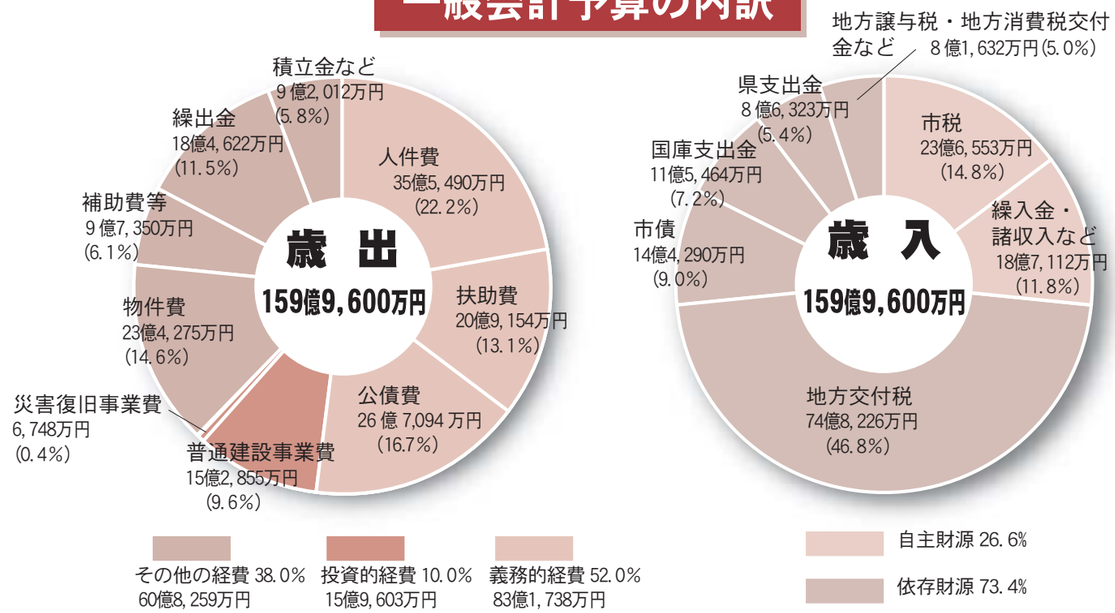
平成19年度予算の概要

「永遠の日本のふるさと」の実現に向け充電型予算を編成

平成19年度の予算が３月の市議会定例会で議決されました。一般会計予算の総額は159億9,600万円、前年度予算額に比べ10.6％減少。平成20年度以降計画されている大規模事業実施のため、「さらに飛躍するための充電期間」と位置付けた充電型予算とし編成しました。

（各数値は単位未満を四捨五入して端数処理をしているので、合計額が異なる場合があります）

一般会計予算の内訳



※市債…市が借りるお金　扶助費…生活保護・老人ホーム入所費など　公債費…借りたお金を返済するためのお金
物件費…高熱水費・委託料など　繰出金…各特別会計の不足を補うお金

市は『永遠の日本のふるさと遠野』の実現のため①実施計画や主要プロジェクトの確実な推進②経営改革大綱に基づく市政改革③健全財政五ヵ年計画の実行―の三つを柱とした平成十九年度予算を編成しました。

市総合計画前期基本計画の一四〇事業のうち一〇四事業（事業費三十一億一千百万円）に取り組みます。

緊急課題に迅速に対応するため「遠野スタイル創造プロジェクト」の中で、十四事業（事業費三億百万円）に取り組むほか、市民協働によるまちづくりの推進のためとして二十一事業（事業費七千六百万円）に取り組みます。

職員定数の見直しによる行政運営の効率化を図るほか、パスポート発行業務など県からの権限・事務の移譲を受けながら市民サービスの拡充に努めます。また、指定管理者制度などの外部への業務委託を推進し、官民協働による行政運営に取り組みます。

補助金や負担金の見直しにより、百二十五件を削減、二十七件を廃止し、約一億二千七百万円の減額となりました。

借金に当たる市債残高は市民一人当たり六十一万四千円（十九年度末見込み）で、前年度に比べ二万六千円の減額となる見込みです。

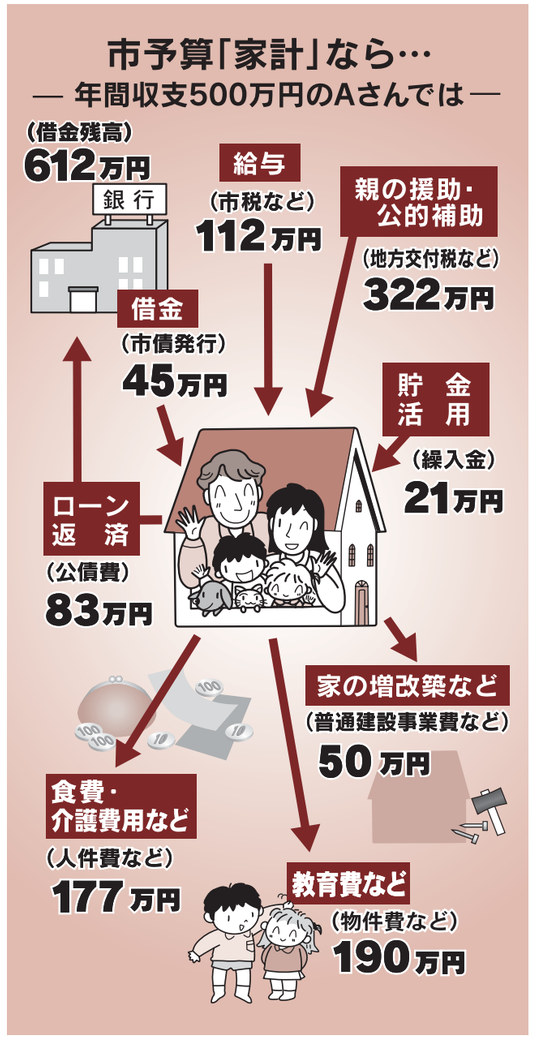
医師確保のための「市民医療環境整備事業費」（事業費三千七百万円）や、老朽化が進む遠野北小学校の改造に向けた「遠野北小学校大規模改造等事業費」（事業費千二百万円）など、新たに四十四の事業（事業費八億三千五百万円）に取り組みます。

≪市総合計画前期基本計画大綱別の主な事業≫

Ⅰ自然を愛し共生するまちづくり	**36億1,500万円**
総合交通対策事業費	7,000万円
水道未普及地区整備事業費（新規）	500万円
環境学習推進事業費（新規）	2,944万円
防災基盤整備事業費	3,676万円
	ほか121事業
Ⅱ健やかに人が輝くまちづくり	**40億7,100万円**
障害者自立支援介護給付費（新規）	3億7,732万円
市民医療環境整備事業費（新規）	3,700万円
遠野型助産院ネットワーク事業費（新規）	378万円
健康スポーツプログラム推進事業費（新規）	739万円
	ほか87事業
Ⅲ活力を総意で築くまちづくり	**16億6,500万円**
農地・水・環境保全向上対策事業費（新規）	464万円
ＡＳＴチャレンジ100事業	2,791万円
遠野暮らし体験交流整備事業費	499万円
遠野の旬を楽しむまちづくり事業費（新規）	300万円
ふるさと遠野・河童のクゥと夏休み推進事業費（新規）	320万円
	ほか94事業
Ⅳふるさとの文化を育むまちづくり	**12億1,900万円**
総合給食センター整備調査事業費	1,455万円
特別支援教育推進事業費	938万円
遠野北小学校大規模改造等事業費（新規）	1,200万円
	ほか76事業
Ⅴみんなで考え支えあうまちづくり	**54億2,600万円**
地域づくり振興費	1,687万円
まちづくり会議費	28万円
公共施設ロングライフ事業費	2,000万円
	ほか75事業

≪合併に伴う特定財源を充当する事業（再掲）≫

市町村合併特例事業債充当事業（５事業）	4億2,997万円
過疎対策事業債充当事業（４事業）	1億8,020万円
辺地対策事業債充当事業（２事業）	1億2,515万円
合併市町村自立支援交付金充当事業（1事業）	1億円
永遠の日本のふるさと遠野基金充当事業（19事業）	1億2,965万円



特別会計予算
112億3,421万円

①国民健康保険	
事業勘定	36億1,697万円
直営診療施設勘定	1億9,065万円
②老人保健	31億4,777万円
③介護保険	
保険事業勘定	26億1,163万円
介護サービス事業勘定	1,644万円
④ケーブルテレビ事業	3億6,226万円
⑤浄化槽事業	1億　362万円
⑥農業集落排水事業	7,436万円
⑦下水道事業	11億1,051万円

※特別会計…一般会計の収入・支出と区別して個別に処理される会計